◆ 公文書館に行ってみよう ◆

自治会、老人会、婦人会、子供会、デイサービス、サークル・・・
みんなで公文書館に行ってみたい！という皆様、ぜひ団体見学をご利用ください！

■ どんなことができるの？ ■

・講堂やミニシアターで映像資料を鑑賞できます。
・職員が展示解説を行います。
・ご要望に応じて、公文書館の業務や利用方法などもご説明します。
・その他、時間や内容についてはお気軽にご相談ください。

■ 曜日 ■

火・水・木・金 ※月・土・日・祝日は原則受け付けておりません。

■ 時間 ■

午前9時から午後5時までの間。
所要時間は事前にご相談ください。

■ 入館料 ■

無料です！

■ 予約方法 ■

視察、見学申込書でお申込み下さい。

見学申し込み
はこちら

■ お申込み＆お問い合わせ ■

Tell　098-888-3875
Fax　098-888-3879
沖縄県公文書館（南風原町字荒川148-3）

PATH FINDERとは？

パスファインダーは「道案内」を意味します。
ある特定のトピック（主題）や資料群に関する情報を分かりやすくまとめたツールです。

≪パスファインダー一覧≫

1. 飲食店マップ
2. 地籍調査 関係資料
3. 家譜
4. 市内バス案内
5. 新聞資料
6. 軍雇用員カード
7. 空中写真
8. 写真資料
9. 沖縄戦 関係資料
10. 閲覧室へようこそ
11. はじめての公文書館
12. 小・中学生の皆さまへ
13. 米国収集資料
14. USCAR 文書
15. 対米国民政府往復文書
16. 立法院会議録
17. 軽便鉄道
18. 沖縄移民 関係資料
19. 宮森小学校ジェット機墜落事故
20. アーカイブズと著作権
21. 沖縄国際海洋博覧会関係資料
22. 毒ガス移送 関係資料
23. 10.10 空襲
24. 団体見学

（令和４年９月現在）

くわしいことは
閲覧スタッフまで♪

沖縄県公文書館　閲覧室
[9:00-17:00　休館日：月曜・祝日]
※閲覧申請の受付は16:30迄

〒901-1105
沖縄県南風原町字新川148-3

TEL　：098-888-3871
FAX　：098-888-3874
Email ：reference@archives.pref.okinawa.jp

PATH FINDER NO. 24

団体見学

入館無料

【展示室の観覧】

【ミニシアターでの上映】

沖縄県公文書館
Okinawa Prefectural Archives

プログラム

沖縄県公文書館では要望に合わせて展示室、ミニシアター、講堂等を使った見学プログラムを組むことができます。

展示の解説

所蔵資料展を開催しており、こちらは予約なしでも利用することができます。
見学でご予約いただいた場合、職員が展示の解説をします。

講堂で映像鑑賞

当館所蔵の映像資料を鑑賞することができます。
12人以上から利用可能です。

ミニシアターで映像鑑賞

当館所蔵の映像資料を鑑賞することができます。
11人以下の少人数での利用に適しています。

おすすめ映像　所要時間に合わせてお選びください

1『琉球の風物』【11分】

1938年(昭和13)制作:日本短編映画社、大日本文化映画製作所

戦前の沖縄の風物を記録した短編映画。1938年(昭和13)来沖した日本民芸協会による企画。南国特有の植物(ソテツ、アダン、リュウゼツラン等)や、首里城周辺(正殿、守礼門、歓会門、円覚寺等)、真玉橋、孔子廟、浦添ユードレなどの史跡、加那よー、浜地鳥、組踊などの舞踊や、糸満の漁業、行商、市場の婦人達、空手の演舞、葬式の行列など。

2『琉球の民芸』【11分】

1938年(昭和13) 制作:日本短編映画社、大日本文化映画製作所

『琉球の風物』と同時に制作された日本民芸協会の短編映画。琉装の女性による芭蕉の糸績みの様子や腰機による織物の制作、紅型の着尺や筒描きに風呂敷の制作、壺屋でのろくろ成形の　様子や登り窯での焼成などが紹介されている。

3『海の民 沖縄島物語』【28分】1942年(昭和17) 制作:東亜発声映画

首里城、守礼門で「首里古城」を唄う県立第二高女生。糸満の勇壮な追い込み漁、家を守る女たち、魚売り。ハーリーは「海洋制覇の精神をここに伝える」と賞賛する。最後は拓南訓練所の生徒たちの唱和。

4『沖縄戦　No.2』【29分】1945年(昭和20)　撮影:米海兵隊

米海兵隊が撮影・編集した沖縄戦の記録映像。沖縄空撮、本島上陸、地上戦の様子、手榴弾投　入、火炎放射器で集落を焼く、パラシュートで物資を投下、シュガーローフの攻防戦、米軍に　つかまった住民たち、収容所の中のジープ、ブルトーザーと米兵、泥道を行くトラックなど。

5『THE OKINAWAN 沖縄』【43分】1960年(昭和35) 制作:宮本ハロルド

1960年(昭和35)、アメリカ民政府の協力によりハワイ移住者が製作した「琉球列島の物語」。当時の沖縄の様子を、産業(さとうきび作り、工芸　品)や年中行事(お盆、運動会など)を紹介しながら、島の発展の様子を描く。摩文仁の慰霊碑、国際通り、名護市陸上競技場、琉球大学の建物、　南風原の大城かすり工場、糸満の綱引きなどがある。

6『沖縄』【26分】1963年(昭和38)　企画:琉球政府　制作:福原健司

1963年(昭和38)に制作された沖縄の観光映画。自然、歴史を紹介しながら沖縄各地を案内する。国際通り、首里、壺屋、紅型、歌と踊り、空手、万座毛、名護城跡、辺戸岬、八重山宮良家、西表の山林、中部の闘牛、南部戦跡(バックナーの碑、ひめゆり、健児の塔)、泡瀬のゴルフ場、北部名護の七曲がり、「白い煙黒い煙」の碑、オリオンビール工場、製糖工場、糸満門中墓。

7『TVウィークリー』

・「新しく設けられた手工芸品販売店」【約13分】
1967年(昭和42)12月14日放送放映:琉球放送
・「アメリカ人による年末助け合い」【約14分】
1967年(昭和42)12月28日放送放映:琉球放送
・人・時・場所「日本の文化を学ぶアメリカの子供達」【約23分】1970年(昭和45)3月24日放送放映:沖縄テレビ

8『琉球ニュース No.6』【14分45秒】

1954年(昭和29)制作:琉球列島米国民政府情報教育部

「南米ボリヴィアへ移民団出発」、「国民指導員アメリカを視察」、「オグデン副長官等渡俱知(渡具知)部落を視察」、「那覇丸の就航祝」、「交通安全週間ポスターの優秀作品きまる」、「名護英語学　校卒業式」、「琉米親善卓球大会」

9『ハワイに生きる 沖縄移民65年の足跡 Life in Hawaii-Okinawans 65 year Documentary』【83分】

1969年(昭和44) 監督:比嘉太郎トーマス
ハワイ沖縄移民65周年を記念し、県系移民2世の比嘉太郎トーマスが3年余の歳月をかけて制作。1965年5月の記念式典の様子、当時のハワイで活躍する移民たちのインタビューを織り込みながら、ハワイ移民の歴史と現在を描いています。

10『ボリビアに拓く緑のコロニアー15年目の沖縄移住地【37分】

1970年(昭和45)頃　企画:海外移住事業団　　制作:シネぱんちょ

ボリビア移住15年目に制作された記録映画。1955年(昭和30)に第1回目の移住者を迎えた「コロニア沖縄」の15年苦闘の歴史と、第1から第3コロニアの現状を伝える。原始林の開拓、スクールバスと教育、トウモロコシ、陸稲栽培、肉牛飼育、コロニア沖縄中央病院の活動等を紹介している。

視聴できる映像資料はこれらの他にも沢山あります！
詳細は、当館ホームページ
「 利用案内-団体見学 」
のページからご確認ください。

団体見学詳細